

夢の図書館

The you-me-no library news

3月号

令和5年3月1日発行 (第235号)

編纂 夢野台高校図書委員会

とうとう1年間の最後の月になりました。皆さんはこの1年間で本をどれくらい読みましたか?たくさん読んだという人もいれば、あまり読まなかったという人もいるでしょう。今年度は本を読まなかったという人も来年度からはぜひ本を借りに来てください。図書室では自習もできるので勉強したいという人もぜひ利用してください!



検察側の罪人 著 粟井 脩介

蒲田の老夫婦刺殺事件の容疑者の中に、かつて時効によって罪を逃れた人物、松倉の名前があるのを最上検事はみつける。今度こそ法の裁きを受けさせるべく松倉を追い込んでいく。最上に心酔する若手検事の沖野は厳しい尋問で松倉を締め上げるが、最上の強引なやり方に疑問を抱く。

正義のあり方を根本から問うミステリー小説。



空白を満たしなさい 著 平野 啓一郎

死んだはずの人間が生き返る世界。主人公は気づくと3年経っており、自殺だったと伝えられる。しかし、本人に死んだ時の記憶はなく、自殺するような理由が思い当たらないため、実は自分は殺されたのではないかと考えて、自らの死の理由を追求していく中で、生きること、死ぬこと、そして幸福ということの意味を知っていくさまを描く。



杉下右京の冒険 著 碓 卯人

2010年に発表した『杉下右京の事件簿』に続き、テレビドラマ『相棒』のノベライズを手がける碓によるオリジナル小説の第2弾。三宅島を舞台とした「紺碧の墓標」と、韓国を舞台とした「野鳥とUFO」の2編が収録されている。

時系列としては「紺碧の墓標」は亀山薫が特命係を去って約半年後、「野鳥とUFO」は神戸尊が特命係に着任してしばらく経った後の物語である。



世界から猫が消えたなら 著 川村 元気

1匹の猫と共に暮らす男性郵便配達員が主人公。著者の川村が、幼い頃に飼っていた猫が突然姿を消した体験と大人になってから携帯電話をなくした体験、それぞれの時に感じたことから着想を得て、構想に約1年、執筆に約半年が費やされた末に完成した。基本的にはファンタジーであるが、家族のかたちを描いたドキュメンタリーの要素もあり、読者の誰もが自分に置き換えて入りこめるようにとあえて登場人物は“僕”や“彼女”にして個人名を付けず、川村は自分を主人公に置き換えてひたすらシミュレーションしながら執筆したという。



神様の御用人 著 浅葉 なつ

“神様たちの御用を聞いて回る人間”御用人”。ある日突然、狐神からその役目を命じられたフリーターの良彦は、古事記やら民話やらに登場する神々に振り回されることになり…！？特殊能力もない、不思議な力を放つ道具も持ってない、ごく普通の“人間”が、秘めたる願いをを持った神様たちにできること。それは果たして助っ人なのかパシリなのか。

モフモフの狐神・黄金とともに、良彦の神様クエストが今幕を開ける！

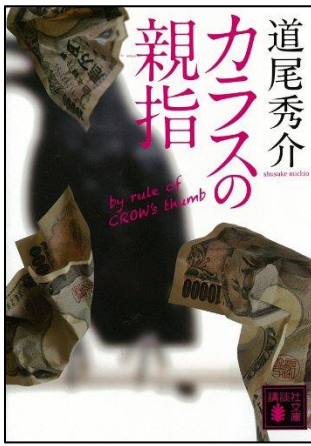


いま、会いにゆきます 著 市川 拓司

市川拓司さんの作品「いま、会いにゆきます」も、一度は読むべき名作恋愛小説。

亡くなった妻を思う夫と息子を描いたファンタジック要素もある作品です。ただ切ないだけではなく、ささやかな日常に幸せがあることに気づかせてくれます。

タイトルの意味がわかった時に、その言葉に込められた思いに涙せずにはられません。胸の奥がキュッとなる、泣ける恋愛小説です。



カラスの親指 著 道尾 秀介

詐欺を生業とする中年 2 人組の生活に、ある日 1 人の少女が舞い込み、さらに同居人が増え…と、テンポ良く展開する読むべきミステリー小説。

他人同士の彼らが企てた計画の最後の最後には、想像もしていなかった逆転劇がまっています。

どうなるの？と続きが気になる面白い展開に、最後まで一気に読んでしまいたくなるおすすめの小説。

小説を読み終わったあとの爽快感もたまりません♪



空飛ぶ馬 著 北村 薫

「私たちの日常にひそむささいだけれど不可思議な謎のなかに、貴重な人生の輝きや生きてゆくことの哀しみが隠されていることを教えてくれる」と宮部みゆきが絶賛する通り、これは本格推理の面白さと小説の醍醐味とがきわめて幸福な結婚をして生まれ出た作品である。異才・北村薫のデビュー作。



スイス時計の謎 著 有栖川 有栖

2年に一度開かれていた“同窓会（リユニオン）”の当日、メンバーの一人が殺され、被害者のはめていた腕時計が消失！いったいなぜか…。火村の示した間然するところのない推理に「犯人」が最後に明かした「動機」とは。表題作ほか謎解きの醍醐味が堪能できる超絶の全4篇。ご存じ国名シリーズ第7弾、これぞ本格だ！



★2023年2月新着図書の紹介（寄贈も含む）★

書名	著者名	出版者
はるかなる「先生」への道	川崎 芳徳	パレード
HSP(ハイリー・センシティブ・パーソン)の教科書： HSP かな?と思ったら読む本/HSP の教科書	上戸えりな	Clover 出版/クローバーシュツパン
一生幸せな HSC の育て方：「気が付き過ぎる」子どもの日常・学校生活の「悩み」と「伸ばし方」を理解する	杉本景子	時事通信出版局
invert：城塚翡翠倒叙集	相沢沙呼	講談社
この世の喜びよ	井戸川射子	講談社
地図と拳 = THE MAP AND THE FIST / THE MAP AND THE FIST	小川哲	集英社
奈良の文学とことば	山田昇平, 岸江信介, 中尾和昇, 光石亜由美, 木田隆文, 松本大 // 著 / 奈良大学 // 編	ナカニシヤ出版
飛鳥と斑鳩：道で結ばれた宮と寺	酒井龍一, 荒木浩司, 相原嘉之, 東野治之 // 著 / 奈良大学	ナカニシヤ出版
首折り男のための協奏曲	伊坂幸太郎	新潮社
荒地の家族	佐藤厚志	新潮社
教育の社会学：〈常識〉の問い方, 見直し方	苅谷剛彦, 濱名陽子, 木村涼子, 酒井朗	有斐閣
世界はひとつの教室：「学び×テクノロジー」が起すイノベーション	サルマン・カーン // 著 / 三木俊哉 // 訳	ダイヤモンド社
しろがねの葉	千早茜	新潮社
「学力」の経済学	中室牧子	ディスカヴァー・トゥエンティワン
教室内(スクール)カースト	鈴木翔	光文社
問いからはじめる教育学	勝野正章, 庄井良信	有斐閣
最先端の教育世界を変える学び手	アレックス・ベアード // 著 / 岩崎晋也 // 訳	東洋館出版社
絵で読む教育学入門	広岡義之 // 著 / 北村信明 // 絵	ミネルヴァ書房
ワークで学ぶ教育学	井藤元	ナカニシヤ出版
データで読む教育の論点	舞田敏彦	晶文社
教育 AI が変える 21 世紀の学び：指導と学習の新たなかたち	ウェイン・ホルムス, マヤ・ビアリック, チャールズ・ファデル	北大路書房

